

# 恩田好子 【おんだ・よしこ Yoshiko SYNDI Onda】

東京生まれ東京育ち。埼玉県川口市在住。  
イラストレーター/ライター/バスルームシンガー

武蔵野美術短期大学で油絵を専攻。

テキスタイルデザイナーとして就職した会社が倒産し、以後懲りてフリーランス。

新聞、雑誌、書籍、児童書、PR誌、ムックなどに挿絵、カット、イラストレーション、イラストルポ、イラストエッセイなどを寄稿。

都内で個展、グループ展多数。

2010年よりJPAL日本出版美術家連盟理事。

近年の主な画題は『象徴的赤ずきん』で、昔話の赤ずきんを、思春期の問題を抱えた女の子、つまりすべての女の子の象徴として読み替える絵をたくさん描いています。

犬猫、カエル、トカゲや蛇など、動物一般が好きで、動物を擬人化した絵、それらが混ざったようなクリーチャーを描くのも大好きです。



## 作品介绍

- 2014年 『赤ずきんがいっぱい』『赤ずきんX遺伝子』（@下北沢comカフェ 音倉）をきっかけに、展示とライブパフォーマンスのコラボレーションをすることに目覚め、以後、いくつかのステージを作っています。音楽と現代朗読を絵の展示にプラスした表現には大きな可能性があるかと信じています。
- 2015年 個展『赤ずきんがいっぱい2015:Little By Little Red Riding Hood』（@南青山カフェバーLunar）
- 2017年 個展『オオカミはかく語りき』（@国分寺ライブハウスGiee）
- 2018年 個展『赤ずきんの宿題は終わらない』（@恵比寿 ギャラリーまある）でも、展示に付随したライブステージ作って、歌ったり自作のストーリーを演じたり、演奏してもらったり歌ってもらったり朗読してもらったりして（つまり人に力もいっぱい借りて）展覧会をつくりました。子供のためのお話を書くことにも力を入れています。

オフィシャルウェブサイト：<https://syndionda.jimdo.com/>

FaceBookページあります：Yoshiko SYNDI Onda <https://www.facebook.com/syndionda/>

noteに雑文を公開しています：<https://note.mu/syndi>

## 病院deART

外来待合スペースを活用し

アーティストの作品や地域の方々の作品を展示します。

入院患者さんや外来の患者さんに良質なアートに触れていただき、気分をリフレッシュしていただこうと2017年11月27日から外来スペースに作品をご鑑賞いただくためのショウケースを設置致しました。

今後定期的に作品を展示する予定ですので、ぜひご覧いただきたく思います。

